

広 報



とうえい

昭和 5 1 年

毎月 1 日

発行

NO. 195



いこいのひととき

世間話に花が咲く

(みどの老人いこいの家にて)

学

童

作

品

「スケート」

足込小四年

熊谷美保子

わたしたちの学校では、毎朝スケートをしています。これはきよ年の暮れからPTAの人や先生たちが、スケート場づくりに毎晩のように出てきてくれたおかげです。けさはんかんに氷ってあめ色になっていました。一年生の時はこわくてすべれなかったけど今はこわくありません。わたしが遊びながらすべっていると、「ひざをまげよ」

「手をくんですべろ」と、井口先生が大声でいいます。手をくんですべってもいつのまにか手はなれてしまいます。そして、手をはなしてすべっているとまた注意されます。ひざをまげているとこしがいたくなるので立ってしまいます。一、二年と三年以上にわかれてすべっています。先生のいない時は自由にすべれるので、ときどきクロスをおぼえたくてやってみます。クロスは一ばんむずかしくてころばない時はできないし、できたかと思ったときはころんでしまいます。でも一度だけまぐれだかもしれないけどできました。はじめのうちはこわいので足が前に出なかつたけど、今はとちゅうまでは出ます。

わたしはスケートが大好きです。スケートはとても楽しいです。らい年もさらに年もすべりたいです。

3月号

人口と世帯

2月1日現在

()内は前年比

人口 6,924人(-162)

男 3,302人(-57)

女 3,622人(-105)

世帯数 1,842戸(-11)

(住民基本台帳)

昭和50年のあしあと

多様化する行政、順調に消化

● ● 教育施策さらに充実 ● ●

昭和五十年のあしあとをふりかえってみて、例年にない大きな行事が多く行われ、選挙の当たり年といわれたように、私たちにもっとも身近な選挙が新年早々から始まり、また、教育施設の完成をはじめ、町制の一くぎりである二十周年記念式典など、これらすべて多くの住民のかたがたの協力を得て順調に消化されました。すでに昭和五十一年も二カ月ほど過ぎ去りましたが、本年はどのようなところがあつたでしょうか。まずは、昨年（昭和五十年）をかえりみたいと思います。

1 月

昭和五十年成人式

青年の家で実施

(15日)

この日東栄町では、青年活動の道場である青年の家から、百二十九名の新成人が巣立つ。若者たちに寄せる期待はまことに大きなものがあり、また、将来をになう若者たちが郷土にしっかりと根をおろし、新しい町づくりの原動力となつてもらうことを心から念願し、成人者全員でりっぱな社会人となるよう誓い合う。

故伊藤彦一氏に

勲六等瑞宝賞を

昭和四十九年十二月六日に死去された故人は、昭和二十三年五月に下川村議会議員に就任され、村行政の困難な諸問題解決に敏腕を振われ、また、昭和三十年から昭和四十二年まで東栄町議会議員として十一年余にわたり地方自治のために尽くされ、その間、議長、副



愛知県知事選挙の
開票風景
(役場会議室)

2 月

愛知県知事選で

仲谷氏が当選

(9日)

「選挙の当たり年」といわれた五十年。そのトップを切つて行われ、議長などを務め、町行政の広範囲にわたり献身的に貢献された。

4 月

昭和五十年

町政スタート

三月十二日に開催された本会議において新年度予算が審議され、一般会計予算額は九億四千八百三十万円で、前年度当初予算額より四・四割増となる。

新東栄中学校開校

(3日)

緑一色に覆われた宮平の地に、教育の殿堂「新東栄中学校」が開校。この日はまさに新たな出発にふさわしい晴天に恵まれ、新しい中学校教育の輝かしい発展をめざし出発。
全校生徒数—三百八十四名。

県議会議員選挙で

竹下氏が再選

(13日)

ことし二つ目の選挙で、二名の候補者の間で競われ、北設楽郡全

関本英子医師 第三回医療功労賞で 全国表彰に輝く

(21日)

この表彰は、山村、離島などの辺地医療に尽くしている功労者をたたえるもので、東京の日比谷公会堂において、W・H・O世界保健デー記念中央大会の席上で表彰される。

今回は、全国から推せんされた百七名の中からわずかに十五名が選ばれたもの。表彰式には、表彰状と賞金、記念メダルを受ける。



教育の殿堂「新東栄中学校」に輝かしい希望を胸にだき第一歩
(開校式の日)

体の結果は竹下喜兵衛氏が再選。東栄町での結果は投票率七十九二割と低調。

町議会議員選挙に 住民の関心高まる

(27日)

今回の立候補者数は二十三名で三名上回る約一・二倍の競争率となり、町内は選挙一色に塗りつぶされ、はなばなしい街頭演説など地方選挙独特の気運が満ちあふれた。

投票日には二十カ所の投票所で午前七時からいっせいに投票が行われ、最終投票率は九十四・八割という東栄町選挙史上三番目にあたる成績をおさめる。

開票は即日投票の事務室で行われ、三時間余にわたる開票の結果向う四年間の町政を担当する二十名の新議員が誕生した。

5 月

新議会構成 まとまる

まとまる

(2日)

改選後初の町議会臨時会で新議会の構成がまとまり、軌道に乗ってスタートする。

議長に三高宏氏。副議長に安藤孝氏。

6 月

川角「民宿村」 活気ある毎日送る

三年目を迎えた「民宿村」は、

今では広範囲に好評を得、静かなたすまいの片田舎も活気にあふれた毎日を送る。
○利用人員 約千六百人(延べ)

7 月

「自然科学センター」 旧振草中跡に開所

(22日)

廃校となった振草中学校の再利用として改装され、美しい自然と対話する学習コースの拠点として総合文化センター、御園天文科学センターに次ぐもの。

ここでは、地質、動植物、民俗をはじめとする自然科学の学習の場として、小・中・高児童生徒、一般の人たちに利用されるところ



自然科学の学習の場として
限らない発展を誓う
新しい扉が開かれる



町政功労者を迎え
「町制20周年記念式典」挙行
(青年の家講堂にて)

鈴木副知事夫妻を招き
「アワの摘穂式」
(下栗代桑原で)



である。開所早々、多くの人たちでにぎわい好評であった。

8 月

古式ゆかしく 「アワの摘穂式」

(31日)

この行事は、毎年県内各地で農業の祭典として慣例的に営まれるもので、今回は振草下栗代桑原の伊藤梁市さんの献穀畑で、鈴木副知事夫妻をはじめ多くの来賓のかがたとアワの摘穂式を行う。

10 月

全国いっせいに 「国勢調査」実施

(1日)

この調査は五年おきに実施されるもので、東栄町の総人口は六千七百五十一人で、前回調査(七千七百六人)より九百五十五人(十二・四割)減少。男一千三百七十三人、女一千三百七十八人。世帯数は千八百六十四戸で、前回より五十一世帯減少し、この結果、一世帯当たりの平均世帯人員は三・六二人で、ますます核家族化の波が強くなる。

11 月

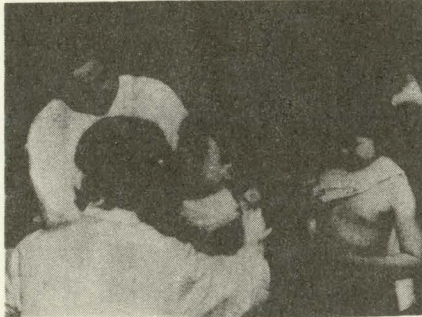
町制20周年 記念式典」挙行

(3日)

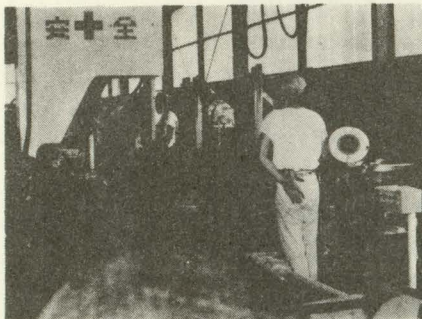
去る三十年四月から三十一年九月にかけて六カ町村が合併して、東栄町として発足して以来二十周年を迎えたのを祝って、総合文化センターの講堂で約三百人が参加して行われる。同時に、自治、産業、福祉、教育、医療、民生など町の発展に特に功労のあった三十六人を表彰。

産業別純生産額

○サービス業 653,947千円 17.3%



○製造業 601,120千円 15.9%



○林業 573,030千円 15.1%



○農業 471,601千円 12.5%
 ○卸売・小売業 470,366千円 12.5%
 ○建設業 336,381千円 8.9%
 ○その他 677,562千円 17.8%

これは、市町村に居住する個人が、民間企業や官公機関などすべての源泉から一年間に受取る所得の総額であります。したがって、人口一人当たりの個人所得は個人の所得水準を示すもつとも有力なバロメーターであるといえます。

調査の結果では、町民一人当たりの所得は六十四万八千円で、二十四・九割（前年比）の増であります。しかし、県民所得九十万三千円との比較においては、その格差は七十一・八割とまだまだ生活水準は低いものであるといわざるをえません。

どうえい

純生産額とは、一年間に町内の各産業部門の経済活動によって生産された純生産物の価値を産業別に計ったものです。

産業別の生産内訳をみますと、第一次産業が全体の二十八・九割、第二次産業が二十六・六割、第三次産業が四十四・五割と、やはり

業は毎年毎年安定した伸びを示しており、今回では大幅に変動した産業もみられず安定した生産活動が行われていたといえるのでは！

こうしたことで、わが町の経済活動のトップはやはり今までどおりサービス業が中心となっております。

分配所得というのは、一年間に町民が生産活動にその所有する土地、労働、資本などの生産諸要素

を提出することによって受けとるべき現金および現物所得のことをいいます。

この分配所得を人口（四十八年十月一七千六十八人）一人当たりになると、六十四万六千円になり前年対比では二十六・九割の増、これを県全体と比較したとき、

その格差は六十二割にあたり、東栄町の経済水準は県下各市町村の中でも低いものとなっています。

純生産額
三十七億八千四百万円

また、個々の分類でもサービス業は毎年毎年安定した伸びを示しており、今回では大幅に変動した産業もみられず安定した生産活動が行われていたといえるのでは！

分配所得額
四十五億六千九百万円

個人所得額
四十五億八千三百万円

(48年分)

個人所得六十五万四千円

(一人当たり)

町民所得推計結果

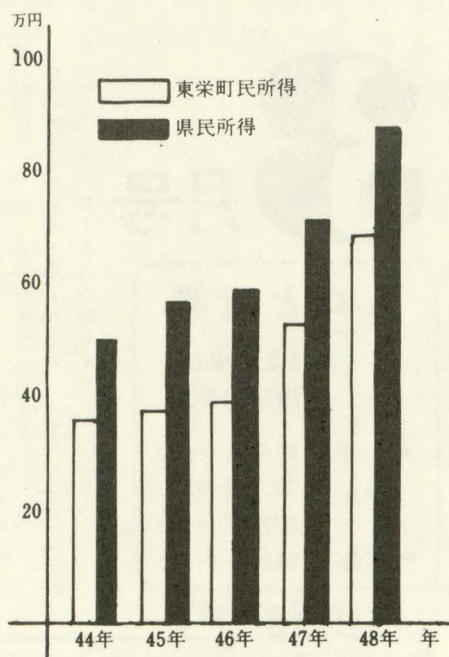
やはり中心はサービス業

県統計課が実施している市町村民所得推計は、昭和四十一年から十回目にあたり、昭和五十年には四十八年分の推計が行われ、このほどその結果がまとまりました。この調査は、東栄町における経済活動を総合的にとらえて、一定期間にどのような経済活動が行われその結果がどのようになったかを明らかにしようとするもので、今後の経済開発資料として重要な意味があるとされています。

サービス業、卸売・小売業をはじめとする第三次産業が半分近くを占めています。

また、個々の分類でもサービス業は毎年毎年安定した伸びを示しており、今回では大幅に変動した産業もみられず安定した生産活動が行われていたといえるのでは！

1人当たり個人所得のうごき



元気な赤ちゃんを 生み、育てよう 毎月1回妊婦検診開催

東栄町では毎月一回産業会館において妊婦検診を開催しています。役場に保健婦が置かれたのが四十九年の四月ですが、その時のいちばんの問題として、町内に助産施設がなく他町村へ出産に行くこと、未熟児の出生が多く乳児死亡が高い等の状況にあったことなどから、四十九年六月から妊婦検診を開始しました。

幸い、同年十月から東栄病院産婦人科の常勤となった瀬口医師の協力を得て一年半ほどたち軌道にのりつつあります。昨年一年の検診利用率は五十四・四割で、毎回町内対象者の約半分のかたが受診しています。また、昨年出生した

乳児六十六人の母親のうち、一回以上町妊婦検診を利用した人は四十九人で、一人平均三・四回受診したことになります。

検診内容は、内診以外の妊婦に必要な検診のすべてを実施することができ、一般に二千円以上かかる診察料が無料です。同時に母子手帳の交付も行っています。しかし、検診日が月一回であること、また、その場で治療できないため異常のあるかたは再度かかりつけの医療機関で受診する必要があります。

なお、妊婦検診と同時に母親教室を開催しています。妊娠中の疑問、お産や育児の不安等を医師や保健婦と話し合い、安心して妊娠期間をすごし、お産や育児にのぞむよう特に初めての妊娠のかたにぜひ受講してほしいと思います。母親教室は四回が一サイクルで、「妊娠の生理と注意」「お産の準備」「産後の生活と家族計画」「妊娠中の栄養と赤ちゃんの保育」に分かれており、瀬口医師、保健婦、栄養士が担当しています。

妊娠中は思わぬことが流早死産につながります。自分でいだろうと決めるのではなく、正常な妊婦でも月一回、八カ月をすぎたら月二回定期的に妊婦検診を受け、じょうぶな赤ちゃんを生み育てるため、じょうぶな体の健康に気をつけましょう。

はしかは予防接種でOK!

誕生日(一歳)後は流行前に

はしかは昔から一度はかかる病気とされ、高い熱が出るため脳炎とか肺炎、その他のこわい病気に移っていく心配があり、おかあさんがたにとつてゆだんのできない病気で、

しかし、今では注射一本で予防ができるようになりました。これは、ワクチンを接種することにより軽いはしかにかけ長続きする免疫を得る方法です。予防接種後十日前後に軽い発熱、発疹などの症状がみられますが、ほとんど床につくこともなく済んでしまいます。

そして、あとははしかにかかる心配も肺炎とか脳炎というこわい合併症にかかることもなくなるわけです。

この予防接種を受ける時期は、生後三カ月まではおかあさんの免疫を受けつぐのだから心配はあっても軽く済むことが多いので、誕生をすぎてもかからない時は流行する前(冬から春)に予防接種を済ませておくとよいでしょう。

お問い合わせは、役場保健課保健婦または東栄病院へ。

ふるさと歌壇

〜一月詠草歌〜 第一六七回

宮下 茂選

山林にたよるすべなし出稼ぎに出て行く吾子の身を案じつつ
岡田 つぎ
気にかかる思ひを無理に捨て去りて汚れし足袋のこはぜを外す
石原 暎子
しき薫に初日の光り温み来て語りかけつつ山羊の乳しほる
金指 節子
初孫の笑顔囲みて新春の明るさ漲る元日の朝
村松 治代
いちめんの真白深霜会ひし入寒き事いひて首すくめゆく
岩倉 源三郎
風にのりてアメリカ風が上りゆく孫と遊べる正月の空
梅田 トシ
遠く住む幼き孫の賀状には勇ましき鬼の絵が書きてあり
原田 れい
斑雪ふみしみながら登る坂炭木運びの山のあけくれ
関本 三江子

母親教室と 妊婦検診開催

◎日時
三月十八日(木)
午後一時半〜二時半 母親教室
午後二時半〜四時 妊婦検診

乳児検診

◎日時
三月二十五日(木)
午後一時〜三時

- ◎テーマ 「産後の生活と家族計画」
- ◎場所 産業会館保健室(二階)
- ◎対象者 東栄町内全妊婦
- ◎費用 無料
- ◎持参するもの 母子手帳
- ◎持参するもの 母子手帳
- ◎場所 保健センター
- ◎対象児 昭和五十年三月、五月、七月、九月、十一月、昭和五十一年一月生まれのお子さん
- ◎費用 無料
- ◎持参するもの 母子手帳

あつ！あぶない

歩行者と自転車乗りの 急な飛び出し

交通ルールは みんなで守ろう

交通事故の大部分は、ちょっとした不注意や交通ルールの無視が原因で起きています。歩行者、自転車乗りも、ドライバーと同じように決められたルールがあります。このルールを守ることが、交通事故を防ぐ基本的条件といえます。

◎ 無理な横断は事故のもと
「飛び出し」、一車の直前直後

の横断」など、無理な横断が事故に結びついています。正しい安全な横断を習慣づけましょう。

①横断はまず右を見て次に左、もう一度右を見て車のこないことを確かめて渡りましょう。

②止まっている車、続いている車の陰からの横断は、運転手からたらい遠回りでも信号のあるところ横断歩道など安全な場所で渡りましょう。

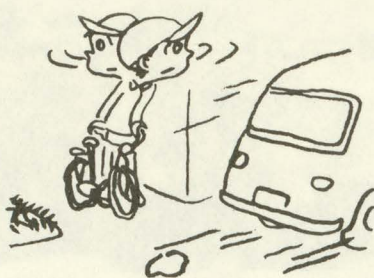
◎ 自転車に乗るときの注意

①裏通りの四つ角、狭い道から広い道へ出るときは、一度止まって安全を確かめましょう。

②常にブレーキ、ハンドルなどの点検、整備をしっかりとっておきましょう。

◎ おとしよりと子どもの交通安全
全

①おとしよりや子どもの交通安全



は、家庭での思いやりとしつけがなによりもたいせつです。

②おとしよりの外出には常に気を配り、病院やお参りなどに出かけるときはなるべくだれかが付添って行き、特に夜間の外出は危険です。必ず付添ってあげましょう。

③小さい子どもからは目を離さないよう、手をしっかりと引いて歩きましょう。



には月割計算はおこなわれません。

ところで、みなさんの中には人に売った自動車やスクラップにした自動車の納税通知書が県からいつまでも送られてくるというようなかたはありますか。万一、このようなことのあるかたは、すぐに陸運事務所が必要な登録手続をしてください。手続をされないでそのまま放置されますと、自動車税は引続き毎年課税されることとなります。ご注意ください。

なお、登録手続を他人に依頼された場合は、手続がすすんでいるかどうかをよく確認することもたいせつです。

戸籍の窓口

～一月受付分～

よろこび

出生児

保護者

住所

原田 英志

邦夫

本郷

国枝 麻喜

進

振草

丸山 順子

智之

振草

伊藤めぐみ

喜人

下田

鈴木 和弘

健次

下田

西尾 祐二

重光

西園

荒河美致代

秀美

西園

かなしみ

氏名年齢

世帯主

住所

伊藤はるの 91

文忠

御園

尾林きよの 66

義人

下田

原田 主水 80

学

下田

柳沢 龍吉 76

千一

川角

伊藤たつの 68

静一

振草

伊藤あき江 83

銀松

振草

どうえい

話を、たずねず、民を、たずねず

南天に対する 信仰

信仰

この地方では、よく白南天の幹で作った小さな槌をお守として腰

土俗信仰

1、南天は他人に与えたりもらったりしてはならぬ。もしそうすると財産を失う。ただし、売買するならばよい(盗んで来ててもよい)というのはおもしろい。

- (2)、南天が繁れば家も栄える。哀調する家は南天の株も衰える。
- (3)、南天は魔よけである。鬼門または方位の悪いところに植えるとうい。
- (4)、南天が伸びて家より高くなるとその家は衰える。
- (5)、南天のはしで食事をすれば毒消しとなる。
- (6)、南天で作った槌を門につるとはしかが入らない。こどもが腰につるせば病難よけとなる。
- (7)、白南天の実を煎じて飲めば、風邪薬となり熱うかしの効がある。

自動車税と 登録手続 について

自動車税は、毎年四月一日現在の自動車所有者(月賦支出中のものについては原則として買主)に課税されます。また、四月一日以降に自動車を廃車したときは廃車した月まで、新規登録をされたときはその翌月から月割計算をした額となりますが、譲渡された場合